

三川っ子だより

No. 19

袋井市長が学校訪問に



袋井市では、ICT 教育を推奨し、一人一台タブレット等の端末が昨年12月に整備されました。そこで、授業改善が進んでいる三川小の授業を参観していただくことが一番の PR になると市から連絡が入り、1月29日(金)に、原田市長さんが来校し、本校会議室で、定例記者会見が開かれました。

定例記者会見後、全クラスの授業公開しました。授業を参観された市長さんは、タブレットを当たり前のように扱っている子どもたちの姿に驚かれ、意欲的に学ぶ姿に感心されていました。

市役所の方々だけでなく、新聞社やテレビ局などの報道関係の方にも参観された子どもたちは、いつも以上に張り切っていました。本校にとっても、日常的に取り組んでいる授業改善について PR するよい機会になりました。



5年生自然教室(観音山少年自然の家)



2月2日(火)、朝までの大雨も上がり、5年生全員が揃って、「自分で考え行動する」「仲間と協力する」「自然を大切に思う」をめあてに3日間の観音山自然教室に出発しました。

初日の山頂登山&ナイトウォーク、2日目の冒険ラリー&キャンドルのつどい、3日目の沢登りまで、すべての活動を全員がやり遂げることができました。

自然教室の間、自分たちで考え行動する姿に、観音山の所員の方々にも褒められ、疲れた中でも満足感いっぱいの表情で学校に帰ってきました。

この3日間で培った自主性や仲間と協力する力をこれからの学校生活に活かし、三川小のリーダーとして活躍することができると一人一人が確信できた自然教室でした。



※裏面もお読みください。

教頭(川島)
48-6197

新型コロナウイルス感染症予防について

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の延長が、2／2に11都道府県に対して発令されました。また、静岡県では、感染拡大緊急警報を独自に発令しました。これらの内容を踏まえつつ、学校では引き続き日常の感染症対策を徹底し、通常の教育活動を進められるよう取り組んでいきます。今後とも御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

なお、2月22日（月）に予定している公開研修については、徹底した対策を以下のとおり講じた上で実施しますので御理解いただきますようお願いいたします。

【申込時に参画者に伝えてあること】

- マスク着用、手指消毒を徹底する。
- 2週間前からの検温等、体調チェックを依頼する。（「健康管理チェックカード」への記入）
＜チェック項目＞※1つでも該当しない項目がある場合は、参画を遠慮いただく。
 - ・平熱を超える発熱がない
 - ・風邪の症状（せき、のどの痛み、鼻水等）がない
 - ・だるさや倦怠感、息苦しさの症状がない
 - ・臭覚異常（においがしない）や味覚異常（味がしない）がない
 - ・新型コロナウイルス感染症に陽性と診断された方との濃厚接触がない
 - ・同居家族や身近な知人に、新型コロナウイルス感染症が疑われる方がいない
 - ・過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国や地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がない
- 前日に、「健康管理チェックカード」を所属長に提出し、承認を受ける。カードは、当日、受付に提出する。
- 受付時に検温確認を行う。
- 児童への接近、話し掛け、参画者間の私語を厳に慎む。
- 密な状態とならないよう受け入れ人数や各教室への人数について制限をかける。
- 湯茶等への準備はしない。各自対応。

【その他、学校で配慮すること】

- 教室は常に換気を行う。
- 中心授業となる2年と6年は、授業場所を教室より広い図工室・会議室とする。
- 受け付け場所、各教室、体育館入り口等に手指消毒液を設置する。
- 参観する場所を示すシールを床に貼って、場所を固定して参観いただく。
- 食事をとる場合は、場所を体育館に限定し、他の参画者と距離をおき、私語を慎むよう依頼する。

☆【緊急事態宣言の延長を受け、付け加えたこと】

- 緊急事態宣言が発令されている都道府県からの参画は御遠慮いただく。
- 緊急事態宣言が発令されていない都道府県に在住の方は、静岡県や在住の都道府県の基準を確認し、対応を判断いただく。
- 静岡県内であっても、近隣でクラスターが発生していたり、所属校で感染者や濃厚接触者が発生していたりする等、感染リスクが高いと判断される場合には、参画を御遠慮いただく。